

# 開基百年を迎えて

(市内大町3) 五十嵐博子さん

(留萌市長) 原田栄一



五十嵐さん

持ちと、二世紀に向かっているステツプの年として、その意義を考へるべきだと思えますね。

そういう意味から、市民総参加による開基百年、市制施行三十年留萌港開港四十年という意義を改めて考えてみたいと思いますね。

それが大正十三年の二月頃だったような気がしますね。

五十嵐 話はかわりますが、市制施行三十年という年でもあり、その内の半分以上を、留萌市長という重責を果されて来たわけですが、この間にもいろいろな事がありましたでしょうかね。

市長 そうですね。楽しいというより苦しい思い出の方が多くですよ。といいますが、当時の留萌は極度の貧度に落ち込んでいましたね。

大和炭炭鉱などの閉山、ニシンは急にとれなくなり、市民全体が留萌の前途は、と首をかしげていた当時でしたからね。

その時、やはり先人がつくった港を中心に、なんとか現状からの脱皮をはかろうと考えましてね。

それと市民生活の環境整備をしなれば、ということから幹線道路、排水溝などに、ずい分努力をしてきたつもりなんですがね。

お蔭で、市内の形態も大きく変わりましたね。

ただ人口の急激な増加がないのが、今後考える点だと思います。

まあ、世帯は増えていっているんですけど、人口の伸び率が低いのは、経済の問題もあるでしょうけど、今の若い人たちが、子供を多く育てないことにも要因があるように思いますけどね。

## 練の夢追い 続けた市民

五十嵐 でも一番苦しい時期から今日の留萌を築いてきたのですから、それなりにやり甲斐があったとも思いますけど。

市長 そうですね。とにかく、とれなくなったニシンの夢を、まだまだ追っている時でしたからね。毎年、投資をしては夢が破れる人も多くてね。

当時から、水産試験場などでも研究を重ねてきたのですが、農業だとか、山の木を切りすぎたとかいうような説がいわれていたものです。

とにかく、一獲千金を夢みた投資で、市民の多くはスツカラカンになった時ですよ。

その約十年後から、北海道の総合開発と併せて、三十七年から地域づくりを進めてきたわけですよ。とにかく、苦しいなりに、やりがいがあったと思うことはたしかですけどね。

五十嵐 そうですね。私の家から地方からくるお客さんも、くるたび

## 対談

ことしの留萌市は、開基 100年、市制施行30年、留萌港開港40年という意義ある年を迎えられました。今日ある留萌の姿は、先人の血のにじむような努力の上に築かれたことは申すまでもないことです。そこで、これらの意義や市民参加による記念行事などについて、五十嵐さんと原田市長に語っていただきました。

五十嵐 ことは、いろいろな記念すべき年を迎えましたこと、おめでとうございます。

私たちが開基なん年とか、留萌の歴史はとかいっても、詳しくわかりませんが、たしかに、今の留萌をつくるために、多くの人たちが苦勞なされたと思いますね。

市長 私もまだまだ若いので、詳しいことはわかりませんが(笑)しかし、百年という大きな節目の年であることはたしかですね。

やはり、先人に対して感謝の気

に「変わった、変わった」といいますね。

市長 そうでしょうね。私としては、やはりもう少し人口の伸びがほしいと思うんですよ。

そのために、そういう仕事も進めてきたのですけど、地元で発展性のある企業誘致とか、労働力の定着をはかる企業努力など、やはり未来の留萌づくりに向かって、行政と市民とが、手をつないで取り組むべき問題がまだまだありますよ。

## 市民総参加の記念事業を

五十嵐 ところで、この開基百年を迎えて、市でもいろいろな記念事業を組んでいると聞いていますが、事

業の主なものほとんどありませんか。

市長 はい。市としても留萌市開基百年記念事業実行委員会をつくり、市民総参加による記念行事を組んでいるんですよ。

ご存知でしょうけど、開基にちなんでのシンボル・マークの募集を行ない、先日決まりましたし、市民の森として、年次的に整備を進めるため、留萌前の広路に、ナカマド、シダレヤナギ、アカシアなど五百八十本の植樹をしました。

この森は、未来を担う、若い皆さんに引き継いでいきたいと思いますね。

「緑なす留萌」これは私の夢でしたし、市民の要望も特に多いものですからね。

記念事業は、今のところ十月一日に文化センターで祝典を行なうことになっています。

詳しくことは、広報るもいなどでも、その都度掲載いたしますので、ぜひ市民総参加で記念すべき年を祝いたいと思いますね。

とにかく、次の百年の人々に残るものをつくりたいと思っております。五十嵐さんが、お母さん、お婆さんになった時に、これは私が植えた木よと、孫にいえるようなものを、お互いに残したいですね。

その他、海洋少年団北海道大会管内青少年将棋大会の開催なども協賛事業として組まれており、八月一日からの商工港まつりと併せて、多くの行事が組まれていますよ。

詳しいことは、広報るもいなどで、ぜひ市民総参加で記念すべき年を祝いたいと思いますね。

とにかく、次の百年の人々に残るものをつくりたいと思っております。五十嵐さんが、お母さん、お婆さんになった時に、これは私が植えた木よと、孫にいえるようなものを、お互いに残したいですね。

その時、やはり先人がつくった港を中心に、なんとか現状からの脱皮をはかろうと考えましてね。

それと市民生活の環境整備をしなれば、ということから幹線道路、排水溝などに、ずい分努力をしてきたつもりなんですがね。

お蔭で、市内の形態も大きく変わりましたね。

ただ人口の急激な増加がないのが、今後考える点だと思います。

それが大正十三年の二月頃だったような気がしますね。

五十嵐 話はかわりますが、市制施行三十年という年でもあり、その内の半分以上を、留萌市長という重責を果されて来たわけですが、この間にもいろいろな事がありましたでしょうかね。

市長 そうですね。楽しいというより苦しい思い出の方が多くですよ。といいますが、当時の留萌は極度の貧度に落ち込んでいましたね。

大和炭炭鉱などの閉山、ニシンは急にとれなくなり、市民全体が留萌の前途は、と首をかしげていた当時でしたからね。

その時、やはり先人がつくった港を中心に、なんとか現状からの脱皮をはかろうと考えましてね。

それと市民生活の環境整備をしなれば、ということから幹線道路、排水溝などに、ずい分努力をしてきたつもりなんですがね。

お蔭で、市内の形態も大きく変わりましたね。

ただ人口の急激な増加がないのが、今後考える点だと思います。

それが大正十三年の二月頃だったような気がしますね。

五十嵐 話はかわりますが、市制施行三十年という年でもあり、その内の半分以上を、留萌市長という重責を果されて来たわけですが、この間にもいろいろな事がありましたでしょうかね。

市長 そうですね。楽しいというより苦しい思い出の方が多くですよ。といいますが、当時の留萌は極度の貧度に落ち込んでいましたね。

大和炭炭鉱などの閉山、ニシンは急にとれなくなり、市民全体が留萌の前途は、と首をかしげていた当時でしたからね。

その時、やはり先人がつくった港を中心に、なんとか現状からの脱皮をはかろうと考えましてね。

それと市民生活の環境整備をしなれば、ということから幹線道路、排水溝などに、ずい分努力をしてきたつもりなんですがね。

お蔭で、市内の形態も大きく変わりましたね。

ただ人口の急激な増加がないのが、今後考える点だと思います。

それが大正十三年の二月頃だったような気がしますね。

五十嵐 話はかわりますが、市制施行三十年という年でもあり、その内の半分以上を、留萌市長という重責を果されて来たわけですが、この間にもいろいろな事がありましたでしょうかね。

市長 そうですね。楽しいというより苦しい思い出の方が多くですよ。といいますが、当時の留萌は極度の貧度に落ち込んでいましたね。

## 対談



原田市長

記念パレードや吹奏楽コンクールなども文化センターを会場に行なわれますよ。

また、動く資料として記録映画の作製、市の木や花の公募、文化講演会、それからNHKテレビによる全国放送、お国自慢にしひがしやラジオ番組の親子談話室の公開放送なども決まっています。

このほか、ミニSL試乗会、百年記念碑の建設、百年記念タイムカプセル、それから市民大運動会などの開催も予定されているんですよ。

この他、海洋少年団北海道大会管内青少年将棋大会の開催なども協賛事業として組まれており、八月一日からの商工港まつりと併せて、多くの行事が組まれていますよ。

詳しいことは、広報るもいなどで、ぜひ市民総参加で記念すべき年を祝いたいと思いますね。

とにかく、次の百年の人々に残るものをつくりたいと思っております。五十嵐さんが、お母さん、お婆さんになった時に、これは私が植えた木よと、孫にいえるようなものを、お互いに残したいですね。

その時、やはり先人がつくった港を中心に、なんとか現状からの脱皮をはかろうと考えましてね。

それと市民生活の環境整備をしなれば、ということから幹線道路、排水溝などに、ずい分努力をしてきたつもりなんですがね。

お蔭で、市内の形態も大きく変わりましたね。

ただ人口の急激な増加がないのが、今後考える点だと思います。

それが大正十三年の二月頃だったような気がしますね。

それが大正十三年の二月頃だったような気がしますね。

五十嵐 話はかわりますが、市制施行三十年という年でもあり、その内の半分以上を、留萌市長という重責を果されて来たわけですが、この間にもいろいろな事がありましたでしょうかね。

市長 そうですね。楽しいというより苦しい思い出の方が多くですよ。といいますが、当時の留萌は極度の貧度に落ち込んでいましたね。

大和炭炭鉱などの閉山、ニシンは急にとれなくなり、市民全体が留萌の前途は、と首をかしげていた当時でしたからね。

その時、やはり先人がつくった港を中心に、なんとか現状からの脱皮をはかろうと考えましてね。

それと市民生活の環境整備をしなれば、ということから幹線道路、排水溝などに、ずい分努力をしてきたつもりなんですがね。

お蔭で、市内の形態も大きく変わりましたね。

ただ人口の急激な増加がないのが、今後考える点だと思います。

それが大正十三年の二月頃だったような気がしますね。

五十嵐 話はかわりますが、市制施行三十年という年でもあり、その内の半分以上を、留萌市長という重責を果されて来たわけですが、この間にもいろいろな事がありましたでしょうかね。

市長 そうですね。楽しいというより苦しい思い出の方が多くですよ。といいますが、当時の留萌は極度の貧度に落ち込んでいましたね。

大和炭炭鉱などの閉山、ニシンは急にとれなくなり、市民全体が留萌の前途は、と首をかしげていた当時でしたからね。

その時、やはり先人がつくった港を中心に、なんとか現状からの脱皮をはかろうと考えましてね。

それと市民生活の環境整備をしなれば、ということから幹線道路、排水溝などに、ずい分努力をしてきたつもりなんですがね。

お蔭で、市内の形態も大きく変わりましたね。

ただ人口の急激な増加がないのが、今後考える点だと思います。

それが大正十三年の二月頃だったような気がしますね。

五十嵐 話はかわりますが、市制施行三十年という年でもあり、その内の半分以上を、留萌市長という重責を果されて来たわけですが、この間にもいろいろな事がありましたでしょうかね。

市長 そうですね。楽しいというより苦しい思い出の方が多くですよ。といいますが、当時の留萌は極度の貧度に落ち込んでいましたね。

大和炭炭鉱などの閉山、ニシンは急にとれなくなり、市民全体が留萌の前途は、と首をかしげていた当時でしたからね。

その時、やはり先人がつくった港を中心に、なんとか現状からの脱皮をはかろうと考えましてね。

それと市民生活の環境整備をしなれば、ということから幹線道路、排水溝などに、ずい分努力をしてきたつもりなんですがね。

お蔭で、市内の形態も大きく変わりましたね。

ただ人口の急激な増加がないのが、今後考える点だと思います。

それが大正十三年の二月頃だったような気がしますね。

五十嵐 話はかわりますが、市制施行三十年という年でもあり、その内の半分以上を、留萌市長という重責を果されて来たわけですが、この間にもいろいろな事がありましたでしょうかね。

市長 そうですね。楽しいというより苦しい思い出の方が多くですよ。といいますが、当時の留萌は極度の貧度に落ち込んでいましたね。

大和炭炭鉱などの閉山、ニシンは急にとれなくなり、市民全体が留萌の前途は、と首をかしげていた当時でしたからね。

**古い写真を集めています**

留萌シネ8の会(菊池龍雄会長)では、81映画「留萌回顧」を製作するにあたり、市民から古い写真を収集しています。

明治から大正、昭和にかけての留萌での風景写真や生活のスナップ写真などがありましたら、ぜひご協力願います。

「留萌回顧」は三十分ものサウンド入りのカラーで、市民芸術祭参加作品として九月十八日に公民館で上映する予定です。

なお、写真の申し出は、白鷗印刷(市内錦町二)内、菊池会長で行なっています。